

大分県立中津北高等学校創立100周年実行委員会



中津北高 100周年実行委員会発足

大会テーマ 百年の風、未来創造

スローガン 北高生よ大海を渡る風となれ

平成21年2月25日、来年に迫ってきました100周年（平成23年）の方向性を議論する会議が開催されました。学校から矢口校長・此経教頭・古野事務長他教諭数名、PTAから洲野会長他各副会長、同窓会から内尾会長他役員、また歴代会長、及び関係者の出席をいただきまして、100周年に対する熱い思いや考えを各々の立場から発言し議論した結果、100周年の実行委員会を發

足する事を決定し、実行委員長に内尾同窓会長、副実行委員長に学校長、PTA会長、同窓会副会長が就任され、その後の会議で4つの部会及び担当が決まり100周年に向けての準備がスタートしました。実行委員会は2ヶ月毎に開催。また各部会も定期的に開催され活発な意見が交わされております。

各部会名および役割は以下の通りです。

- 総務部会**
- テーマ・スローガンの作成
 - 募金趣意書の作成・募金のお願い及び管理
 - 学校支援事業の検討
 - その他総務に関する雑務一切
- 式典部会**
- 式典期日の設定 平成23年9月18日（日）予定
 - 式典に関する全ての企画・立案
- 事業部会**
- 記念事業の企画
 - 記念講演会等の企画
 - 学校支援事業等の企画
 - その他事業
- 記念誌部会**
- 100周年記念誌の作成
 - 航空写真撮影他

新春トラ猫ご挨拶

関東同窓会会長 猪野 積
高校19年生



僕は、トラ猫である。首の周りが白いで、「クビシロ」と呼ばれているうちに、「クービー」という名前になった。僕には、お父さんとお母さんがいる。お父さんは、僕が生まれた川崎の家の住人で、役人を辞めてどこかの大学の教授をしているらしい。心配していたが、僕の食事を切らさない程度の収入はあるようだ。お母さんは、小さい頃から猫に囲まれて育ったと言っている。僕を生んだ母猫は、「カーチャン」と呼ばれ、僕が7歳になった今でも毎日舐めてくれる。僕には、兄弟猫4匹がいた。僕だけが、猫を貰いに来た人達に愛想をなかつたのでこの家に残った。最近お父さんが2匹の猫を拾ってきて、妹と弟ができた。妹は、三毛猫なので、「ミケ」と呼ばれ、弟は、カフェオレ色のブチ猫だけど、家に来た頃いつも本棚の奥に隠れていた。ので、「タナ」と呼ばれている。僕の名前もそうだけど、どうもテキストに付けているような気がする。でも僕は、この家がとても気に入っている。日当たりのよいベランダはあるし、隣は広い緑地で虫や蜥蜴と遊べるし、あったかい布団もあるし、他のどこにも行きたくない。最近、少し気になることがある。お父さんは、九州の中津市生まれで、中津をとても大事にする。墓参りや同級生の集いのため、よく中津に帰っている。その度に僕は、つまらない思いをする。留守中は、お母さんが可愛がってくれるけど、本当はお父さんがいいのだ。そのお父さんが、最近、中津北高関東同窓会の会長とやらを引き受けたらしい。昨日も、お母さんに、このところ関東同窓会の参加者が減っている、色んな人が声を掛けなければと話していた。それやこれやで、僕をほっといて出かけることが増えてやしないかと気がかりなのだ。このあいだも、中津の同窓会総会に出かけた。帰ってきて、僕の背中を撫でながら、猫まで声で、「カーチャン、中津はお魚がおいしいよ、一度行ってみないか」と言うので、思わず僕は、「ニヤカツニヤ、イカニヤイ」と叫んだ。横で、お母さんが、にっこり笑った。